

九州大学百年史 第5巻 : 部局史編 II

九州大学百年史編集委員会

<https://doi.org/10.15017/1547170>

出版情報 : 九州大学百年史. 5, 2015-12-25. Kyushu University
バージョン :
権利関係 :

執筆者一覧 (50 音順)

第 9 編 理学府・理学部・理学研究院

青木義和	赤木右	秋山良	荒殿誠	石原健	市川敏夫
伊藤功	伊藤久徳	伊藤芳雄	井上研三	射場厚	巖佐庸
梅林泰宏	江口和洋	大石徹	大場正昭	岡崎裕典	風間英明
香月昴	加藤工	加藤十吉	金嶋聰	川崎英文	河野英昭
川畑俊一郎	河原康雄	木村康之	久下理	桑野良一	酒井健
佐方功幸	相良建至	佐藤坦	佐野弘好	塩濱勝博	篠崎文重
島崎研一郎	島田允堯	清水洋	下東康幸	末吉豊	鈴木貞臣
関谷博	関谷実	副島雄児	武田信一	舘田英典	谷村禎一
田村茂彦	寺寄亨	鴫田昌之	徳永信	渡慶次睦範	寅丸敦志
中尾充宏	中田正夫	中西秀	中野晴之	奈良岡浩	
仁田坂英二	野呂哲夫	橋本正章	原田恒司	坂内英一	廣岡俊彦
前田米藏	松隈明彦	三島正章	宮原三郎	森信俊平	柳川堯
柳喈	八尋正信	山中美智男	横山拓史	吉村和久	和田裕文
渡辺正和	渡部行男				

第 10 編 数理学府・数理学研究院

大津幸男	梶原健司	加藤十吉	金子昌信	神本文	川島秀一
谷口説男	中尾充宏	西井龍映	野坂武史	松井卓	溝口佳寛
吉川敦	吉田正章				

第 11 編 医学系学府・医学部・医学研究院

赤司浩一	赤星朋比古	秋吉浩三郎	天野敏之	池田典昭	石橋達朗
岩城徹	岩本幸英	上田純二	内博史	梅村創	大池正宏
大石恭久	大木研一	大島裕司	大中佳三	大八木保政	小田義直

小野悦郎	笠井進	片野光男	片瀨俊彦	加藤聖子	河手久弥
川本利恵子	康東天	神庭重信	北園孝成	清原千香子	清原裕
吉良潤一	工藤恵子	小坂俊夫	小宗静男	近藤久雄	
佐々木富男	佐々木雅之	笹栗俊之	神野尚三	杉島節夫	須藤信行
砂川賢二	住本英樹	高原正和	高柳涼一	田口智章	多田功
田中昭代	田中雅夫	續輝久	飛松省三	富永隆治	内藤誠二
中島淳博	中西洋一	橋爪誠	馬場園明	林 純	原寿郎
原田昇	肥後太基	平野勝也	福山聡	古江増隆	古庄憲浩
外須美夫	本田浩	前原喜彦	目野主税	諸橋憲一郎	柳雄介
吉田眞一	吉田素文				

第 12 編 歯学府・歯学部・歯学研究院

赤峰昭文	石川邦夫	久木田敏夫	古谷野潔	坂井英隆	高橋一郎
寺田善博	中西博	中村誠司	二ノ宮裕三	野中和明	平田雅人
前田勝正	森悦秀	山下喜久	横山武志	吉浦一紀	

第 13 編 薬学府・薬学部・薬学研究院

安西和紀	家入一郎	井上和秀	植田正	江頭伸昭	
王子田彰夫	大嶋孝志	大戸茂弘	小野眞弓	片山勉	
亀井（金沢）洋子		黒瀬等	古賀登	佐々木茂貴	島添隆雄
末宗洋	田中嘉孝	田畑香織	中園学	西田基宏	野田百美
濱瀬健司	藤田佳平衛	藤田雅俊	宮本智文	森元聡	山田健一
山田英之					

第 14 編 工学府・工学部・工学研究院

麻生茂	井澤英二	石橋健二	出光一哉	糸井龍一	
今坂藤太郎	今任稔彦	牛島和夫	宇田暢秀	江崎哲郎	圓福敬二

大城桂作	大田治彦	柁川一弘	河野昭彦	北川敏明	古賀靖子
小松利光	小山智幸	坂下寛文	志賀勉	柴田建	島岡隆行
島田英樹	島ノ江憲剛	庄山正仁	新開明二	神野健二	末廣純也
高木節雄	立居場光生	趙世晨	柘植義文	富浦洋一	中尾安幸
中野博昭	中原浩之	永山邦仁	二宮保	野口博司	濱田秀則
林徹夫	原一広	日野伸一	廣川俊二	福田晃	藤本一壽
船木和夫	古川明德	古川芳孝	北條純一	堀賀貴	前田潤滋
前田三男	松井紀久男	三谷泰浩	宮原広郁	村上輝夫	村瀬英一
村田純一	矢野真一郎	山崎伸彦	山田淳	吉川敦	吉田啓二
和田清	渡邊俊行	渡辺美登里			

図表一覧

第9編 理学府・理学部・理学研究院

- 図 9-1 九州帝国大学理学部に関する勅令（1939年）
- 図 9-2 理学部誕生と新入学者を伝える各社新聞記事
- 図 9-3 理学部創設期の教官。前列中央が初代理学部長西久光（1941年）
- 図 9-4 理学部創設期の教官・学生合同懇談会（1939年5月25日三畏閣にて）
- 図 9-5 理学部平面図（1943年）
- 図 9-6 理学部創設当時の管理棟
- 図 9-7 理学部創設当時の第1講義室
- 図 9-8 理学部旧10号館（1945年頃）
- 図 9-9 理学部構内より志賀島を望む。左から4～6号館（1953年）
- 図 9-10 理学部本館（1955年頃）
- 図 9-11 理学部図書室書庫（1962年3月）
- 図 9-12 理学部旧4号館（1964年頃）
- 図 9-13 1964年当時の理学部全景
- 図 9-14 1988年当時の教員（名誉教授も含まれる）
- 図 9-15 1988年当時の理学部1号館、3号館、背後に2号館を望む
- 図 9-16 1989年当時の講義室側から望む理学部2号館
- 図 9-17 1989年当時の理学部建物配置図
- 図 9-18 理学研究院・数理学研究院の発足（2000年）
- 図 9-19 2011年の理学部建物配置図
- 図 9-20 物理学科卒業生
- 図 9-21 建設中のバンデグラフ加速器（1943年）
- 図 9-22 理学部原子核実験室（1944年竣工）
- 図 9-23 タンデム加速器

- ☒ 9-24 第1回化学教室談話会後の茶話会（1940年7月4日三畏閣にて）
- ☒ 9-25 化学科第1回卒業生（1941年）
- ☒ 9-26 理学部創立35周年化学科教員（九化同志寄会）（1974年）
- ☒ 9-27 化学科ソフトボール大会—さあ打ちます（2001年）
- ☒ 9-28 電子スピン共鳴装置（ESR）で化学合成にあずかる電子状態を探る（1980年代）
- ☒ 9-29 核磁気共鳴装置（NMR）で有機合成の研究を行っている山口 勝教授（1987年度日本化学賞受賞）と研究室員（香月 勲）（1980年代）
- ☒ 9-30 レーザー分光装置によって分子構造や電子状態について研究する（1980年代）
- ☒ 9-31 入学直後の旧地質学科旧制第7期生（1944年10月、理学部10号館前）
- ☒ 9-32 秋吉台巡検風景（1960年7月）
- ☒ 9-33 九大祭での高校生対象津屋崎地質巡検会（1969年5月）
- ☒ 9-34 地質学実習の発表準備風景（1983年）
- ☒ 9-35 卒業・修了証書授与式後の記念撮影（2012年3月）
- ☒ 9-36 島田允堯教授・鈴木貞臣教授退職祝賀パーティー後の記念撮影（2005年3月）
- ☒ 9-37 久留米とお別れの数学教室（1950年3月）
- ☒ 9-38 九州帝国大学理学部久留米支部で行われた科学教育研究室「数学」の修了式（1947年）
- ☒ 9-39 生物学科第6回卒業生および教職員・大学院生（1958年3月）
- ☒ 9-40 桑原教授最終講義（1973年2月、理学部大会議室）
- ☒ 9-41 桑原教授退官記念パーティー（1973年4月8日、都ホテル）
- ☒ 9-42 卒業式の記念写真（分子遺伝学講座、1988年3月、屋上にて）
- ☒ 9-43 創設当時の天草臨海実験所研究棟（木造2階建て）と管理人用

附属家屋

- 図 9-44 1938年当時の天草臨海実験所研究棟
- 図 9-45 天草臨海実験所研究棟 (2013年8月)
- 図 9-46 調査船「おおしま丸」 (1954年)
- 図 9-47 第1回卒業式での記念写真 (1945年)
- 図 9-48 雲仙普賢岳で発生、島原市千本木地区に流下した大火砕流 (1993年6月24日)
- 図 9-49 雲仙普賢岳噴火に対応した当時の観測所スタッフ全員 (1995年11月3日、島原地震火山観測所セミナー室で撮影)
- 表 9-1 創設期教職員陣容 (1941年11月現在)
- 表 9-2 新制大学発足当時教職員陣容 (1949年11月現在)
- 表 9-3 現在の教職員の陣容 (2012年3月現在)
- 表 9-4 学科講座数の変遷
- 表 9-5 専攻講座数の変遷
- 表 9-6 学府講座数の変遷
- 表 9-7 部門講座数の変遷
- 表 9-8 理学部学生定員
- 表 9-9 大学院学生定員
- 表 9-10 卒業者数 (2012年3月現在)
- 表 9-11 修士学位授与者数 (2012年3月現在)
- 表 9-12 博士学位授与者数 (2012年3月現在)
- 表 9-13 国際学術交流協定締結一覧
- 表 9-14 建物 (創設当時)
- 表 9-15 建物 (2012年3月時点)
- 表 9-16 1985年当時の物理学科の構成
- 表 9-17 1967年、1969年、および1999年の物理学科のカリキュラム
- 表 9-18 生物学科カリキュラム表

表 9-19 歴代所長・センター長

第 10 編 数理学府・数理学研究院
産業技術数理研究センター

図 10-1 数学教室職員（1986 年）

表 10-1 21 世紀 COE プログラム「機能数理学の構築と展開」事業推進担
当者

表 10-2 産業技術数理研究センター組織（発足当初）

第 11 編 医学系学府・医学部・医学研究院

図 11-1 九州帝国大学医科大学第 3 回卒業生（1913 年）

図 11-2 医学部正門（絵葉書）

図 11-3 戦後の医学部正門

図 11-4 欧文医学雑誌

図 11-5 50 周年記念式典当日の医学部正門（1943 年）

図 11-6 附属図書館医学部分館雑誌閲覧室（1959 年、中山宏明氏提供）

図 11-7 移築された解剖学講堂

図 11-8 医学部創立 75 周年記念庭園（1999 年）

図 11-9 附属図書館医学分館（1981 年 11 月）

図 11-10 眼科学教室建物（1961 年 7 月）

図 11-11 医学部シンボルマーク

図 11-12 医学部百年講堂（2003 年）

第 12 編 歯学府・歯学部・歯学研究院

図 12-1 完成当時の歯学部附属病院（1970 年）

図 12-2 発足当時の歯学部臨床研究棟および附属病院（1967 年）

図 12-3 完成当時の歯学部基礎棟（1970 年）

図 12-4 第 1 回卒業証書授与式風景 (1973 年)

表 12-1 「医学部附属病院と歯学部附属病院の将来構想に関する基本合
意」

表 12-2 病院統合に関する基本的事項 (骨子)

第 13 編 薬学府・薬学部・薬学研究院

図 13-1 創設期の医学部薬学科の研究室配置 (1961 年)

図 13-2 大学院薬学研究科の再編

図 13-3 薬品製造化学教室 (第六講座) (1954年)

図 13-4 植物薬品化学教室 (1974年)

図 13-5 医薬細胞生化学分野 (2013 年)

図 13-6 薬物動態学分野 20 周年を迎えて (2010 年 10 月 23 日)

図 13-7 生物有機合成化学分野が中心となって開催した国際核酸医薬学
会 (2009 年 11 月 3~6 日)

表 13-1 1992年度の授業計画表

表 13-2 1999年度総合薬学科生命薬学コースの授業料配当表—専攻教育科
目—

表 13-3 大学院薬学研究科医療薬学専攻

表 13-4 専攻教育科目の開講時期

第 14 編 工学府・工学部・工学研究院

図 14-1 研究センターの具体案と系との協力関係

図 14-2 大講座の構成と研究センターなど他部局との協力関係

図 14-3 工学研究科における管理運営機構

図 14-4 工学研究院設置計画の関連図

図 14-5 旧工学部本館と航空機 (2012 年 5 月)

図 14-6 ウエスト 4・3・2 号館 (左から)

- ☒ 14-7 伊都キャンパスへ移設された工学部の歴史的記念物の例
- ☒ 14-8 フーコーの振り子
- ☒ 14-9 工科大学本館
- ☒ 14-10 工学部二号館
- ☒ 14-11 機械系学科創立百周年記念大同窓会（2011年5月21日）
- ☒ 14-12 竣工時の航空本館
- ☒ 14-13 航空本館前の桜
- ☒ 14-14 航空宇宙工学教室創立七十五周年記念祝賀会（2012年11月）
- ☒ 14-15 低騒音風洞における実験の様子
- ☒ 14-16 太陽電池性能確認試験中の小型衛星フライトモデル
- ☒ 14-17 初のISS長期滞在後、帰還報告会（2009年11月）で学生の質問に笑顔で答える若田光一宇宙飛行士
- ☒ 14-18 大学院修士課程入学試験の状況
- ☒ 14-19 電気工学科卒業生数・電気工学専攻修士修了者数の推移
- ☒ 14-20 電子工学科卒業生数・電子工学専攻修士修了者数の推移
- ☒ 14-21 工学部三号館
- ☒ 14-22 材料系別棟（工作室・溶解室・講義室等）
- ☒ 14-23 昭和初期までの冶金学科、鉄鋼冶金学科の沿革
- ☒ 14-24 冶金学科、鉄鋼冶金学科、総合理工学研究科材料開発工学専攻の沿革
- ☒ 14-25 材料系学科における卒業生と大学院進学率の変化
- ☒ 14-26 卒業生の就職状況
- ☒ 14-27 2003～13年度に修士課程を卒業した材料系の学生の就職先
- ☒ 14-28 原子力・エネルギー系教育研究組織の変遷
- ☒ 14-29 カリキュラムの流れ（2011年度）
- ☒ 14-30 カリキュラムコースの履修科目の相互関係（2011年度）
- ☒ 14-31 新入生懇談会風景

- 図 14-32 卒業式後の予餞会風景
- 図 14-33 創設期の建築学科教授（昭和 30 年代前半）
- 図 14-34 1998 年頃の建築学科教官
- 図 14-35 2008 年頃の建築学科教員
- 図 14-36 教官構成の変遷
- 図 14-37 ものづくり工学教育研究センターの概要
- 表 14-1 研究科内の専攻とそのブロック分け
- 表 14-2 専門分野と大学院学生定員
- 表 14-3 ウェスト・ゾーンにおける工学系に関わる教育研究施設
- 表 14-4 電気工学科歴代教官
- 表 14-5 卒業者の分野別就職者数
- 表 14-6 卒業生・修士修了者の分野別就職者数
- 表 14-7 業種別就職状況
- 表 14-8 物質科学工学科の学生定員
- 表 14-9 物質科学工学専攻群の学生定員
- 表 14-10 物質科学工学専攻群の構成（1997 年 4 月）
- 表 14-11 物質科学工学部門群と物質科学専攻群（2000 年 4 月）
- 表 14-12 化学工学部門の構成と研究分野（2011 年）
- 表 14-13 2011 年の応用化学部門
- 表 14-14 1997 年の講座および大学院工学府における専攻
- 表 14-15 エネルギー科学科の教育分野と研究（2012 年 4 月現在）
- 表 14-16 エネルギー科学科年間予定
- 表 14-17 エネルギー量子工学専攻の教育体制（2011 年度）
- 表 14-18 エネルギー量子工学専攻修士課程の科目（2011 年度、抜粋）
- 表 14-19 総合理工学研究科・学府量子プロセス理工学専攻および物質理工学専攻の化学系講座編成
- 表 14-20 アジア人財プログラム産業工学コース

九州大学百年史 第5卷
部局史編Ⅱ

2015（平成27）年12月22日発行（WEB公開）

編集 九州大学百年史編集委員会

発行 九州大学
